

「流域計画・流域管理課題分野」 （平成31年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
車両通行情報を活用した洪水氾濫モニタリングシステムの構築	東京理科大学 二瓶 泰雄	A
<p><研究概要></p> <p>本研究では、車両通行情報に関する交通センシング技術に基づく時々刻々の洪水氾濫状況のセンシング技術を開発することを目的とする。そのため、交通センシング新技術であるETC2.0による車両通行情報に基づく洪水氾濫エリアの推定可能性を、複数の洪水氾濫時を対象に検討した。その結果、時々刻々の氾濫域の変化に車両未通行エリアが追随することが確認された。また車両通行情報から氾濫域を抽出するための簡易手法を提示した。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。